

大谷小中学校だより

No.8
令和3年10月27日
珠洲市立大谷小中学校

令和3年度 学校評価書(中間評価) 7月実施した各種アンケート集計結果を基に、評価していただきました。

重点 目標	外部アンケート				自己評価 達成度評価規準	評価		
	保護者アンケート	A+B	児童生徒アンケート	A+B				
1 確かな学力の向上	学校は、子どもの 学力向上に努めて いる。	82.5	授業の導入で、疑問 を持っている。	100.0	◆授業アンケート (全教科平均) ◆児童生徒アン ケート ◆保護者アン ケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○授業の導入で、疑問を持っているの項目では100%となり、1学期に取り組んだ学力向上プランの取組の成果と考えられる。 ○児童・生徒は、授業への取組に達成感を持っている。 ○児童・生徒と保護者の回答には、10%程度の差があり、学力向上に不安を持っている保護者がある。 ○反応し合うことは楽しいことと感ずることができているの項目は、他の項目と比べ、肯定的な割合が低い。 ◎ ●反応し合うことを楽しいと思えるために、委員会活動や集会で、一往復半の対話の場面を増やし、授業で反応し合うことの基盤をつくる。 ●漢字コンテストや重要語句テストの取組を継続し、学力調査結果等について保護者に伝える。		
			自分の考えを、授業 で1回は発表している。	96.0				
			他者の発言について 感想・意見などで反 応を返している。	92.0				
			複数の資料を活用し て、自分の考えをま とめることができ ている。	96.0				
	学校は、子どもの 体力向上に努めて いる。	89.2	振り返りに初めて 知ったことや書いた こと、考えを再認識 したことを書けた。	96.0				
			話し合う活動を通じ て、自分の考えが深 まっている。	96.0				
			課題の解決に向け て、自分の考えを進 めていくことができ た。	88.0				
			課題を解決するた めに、反応し合うこ とは楽しいことと感 ずることができ ている。	80.0				
	子どもは、家庭学 習の習慣がある。 (前期30分、中期 60分、後期90分)	74.2	家で予習に取り組 んでいる。	40.0			◆児童生徒アン ケート ◆保護者アン ケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○ほとんどの児童・生徒が課題や宿題を忘れずに提出しており、家庭学習のあり方や課題・宿題について継続的に指導してきた成果と考えられる。 △ ○学年目標の家庭学習に取り組んでいるという項目では、昨年度2月より30%減少した。今年度から設置された放課後子ども教室で宿題等を済ませてしまうことが多く、家庭での学習時間にカウントしていないことが影響していると考えられる。 ●学年目標の家庭学習を定着させるために、自学ノートに取り組む回数を増やす。クロームブックを使ったノートの評価も継続する。
			毎日、学年目標の家 庭学習に取り組ん でいる。	68.0				
			毎日の課題や宿題を 忘れずに提出し ている。	96.0				
	子どもは、睡眠を7 時間30分程度 とっている。	92.5	早寝・早起きを心 がけている。	72.5			◆児童生徒アン ケート ◆保護者アン ケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○朝食とインターネットのルール作りの項目は、90%以上であり、「げんきもりもりチェック」などの保健指導や生徒指導からの継続的な指導の効果と考えられる。 ●「ルールを作っている」項目では100%だが、「ルールを守らせている」項目では81.7%であり差がある。保護者への協力を呼びかけていく。 ○ ●「げんきもりもりチェック」では、保護者からのコメントをもらっている。そのコメントを指導に生かす。
子どもは、朝食を 食べている。	100.0	きちんと朝食を食 べている。	100.0					
保護者として、S NS・ゲーム・イ ンターネットの家 庭内のルールを 作っている。	100.0	ノー画面デーに取 組んでいる。	92.5					
保護者として、珠 洲市ルール(9時以 降はしない)や、 家庭内ルールを守 らせている。	81.7	*	*					

重点 目標	外部アンケート				自己評価 達成度評価規準	評価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)			
	保護者アンケート	A+B	児童生徒アンケート	A+B						
2 主体的に行動できる児童生徒の育成	子どもは、喜んで学校に行っている。	86.7	学校へ行くのが楽しい。	73.3	◆児童生徒アンケート ◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○	●学校へ行くのが楽しいという項目では、73%が楽しいと感じているが、約25%の児童・生徒が、楽しくないと回答している。学校行事や各種活動を通じて児童生徒の意欲を高める取組を推進していく。 ●各行事や児童・生徒会活動の充実とともに、様子が気になる児童・生徒との面談、全教職員による日常的な声かけ、学びの満足感のある生きた体験活動に取り組む。			
			部活動で自分は鍛えられている。	85.0						
			児童生徒会や委員会活動はやりがいがある。	76.3						
	学校は、子どもが協力して課題を解決する学習に積極的に取り組んでいる。	89.2	難しいことにも、失敗を恐れなくて挑戦している。	80.8						
	子どもは、自分から家族や地域の人に挨拶ができる。	77.5	地域の人たちにきちんとあいさつができている。	100.0				○	○あいさつについての項目では、児童・生徒の回答は100%になった。地域に元気を届けようとする取組が、日常的なあいさつにつながっていると考えられる。	
	子どもは、家の手伝いをしている。	54.2	*	*				○	●キャリアパスポートを生かし、学期ごとの短いスパンでの目標・振り返りや、ゲストティーチャーを活用した取組を行う。 ●学校以外の学びの場での体験を積み重ね、広い視野での学びを保障していく。	
	子どもは、決まりを守って生活している。(服装や自転車の乗り方)	85.0	将来に対する夢や希望を持っている。	68.3				△		
	学校は、生徒理解に務め、適切に対応している。	93.3	自分にはよいところがある。	60.0				◆児童生徒アンケート ◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○	●昨年度2月には7割を超えていた、自分にはよいところがあるの項目が、6割になった。今後達成感を味わったり役に立っていると実感できる場づくりを行っていく。
			自分を褒めたり、叱ったりできる。	75.8						
			先生方は、いじめやトラブルに対し、すぐに対応してくれる。	89.2						
			思いやりの心を持って、級友などの接している。	88.3						
			自分のまわりには、いじめや仲間はずれはいない。	85.8						
			先生や友達に褒められたり認められたりすることがある。	92.5						
	保護者として、良いことについては褒めることを大切にしている。	100.0	*	*				◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	◎	
保護者として、悪いことについては、叱ることを大切にしている。	100.0	*	*							

重点 目標	外部アンケート				自己評価 達成度評価規準	評価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)
	保護者アンケート	A+B	児童生徒アンケート	A+B			
3 保護者・地域との絆	学校は、児童・生徒のことで相談しやすい雰囲気である。	96.7	いろいろな悩みについて、先生は相談にのってくれる。	90.0	◆保護者アンケート ◆児童生徒アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	◎	○保護者は学校からの通信によく目を通してきている。児童・生徒も学校からのおたよりを保護者にしっかり届けるようになった。
			いろいろな悩みについて、友だちは相談にのってくれる。	89.2			
	学校は、通信等で方針や児童・生徒の様子をわかりやすく知らせている。	96.7	*	*			
	保護者として、学校からの通信に目を通してしている。	100	学校だよりなど、学校からのおしらせを必ず家に人に見せている。	95.8			
	学校は、ふるさとを大切に学習に積極的に取り組んでいる	89.2	地域の行事やボランティア活動に参加している。	92.5			
地域に笑顔と元気を届けることができる。			72.5	◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	○	○地域に笑顔と元気を届けるという項目では、新型コロナのため、地域行事がなくなった影響が考えられる。 ●地域の方に、ゲストティーチャーに来ていただく機会を増やし、地域とのつながりを深める。	
学校は、授業参観や行事等で保護者が参加しやすいようにしている。	92.5	*	*	◆保護者アンケート ◎：90%以上 ○：75%以上 △：60%以上 ×：60%未満	◎		
4 働き方改革	自己評価				達成度評価規準	評価	達成度状況の考察(○)と改善方法(●)
	教職員アンケート	A+B					
	時間を意識し、見通しをもって仕事ができている	75.0	*	*			
20時までに退校できている	91.0	*	*				

【質疑応答】

質問: 全国学力調査の結果は？

回答: 県平均を上回っていた。

意見: 結果を出しているのに評価が低い。保護者に結果を知らせてもよいのではないか。

質問: 子供たちは毎日の宿題を忘れず提出できているのに、家庭学習に取り組んでいると答える割合が低いのは？

回答: 子供たちは、放課後子ども教室での学習時間を家庭学習の時間に含めていないと考えられる。

意見: 質問内容を、「家や子ども教室で…」にすればよいのではないか。

中間評価の時点での数字は、あまり気にしない。

質問: 運動会で砂取節を踊ったが、所作等の意味を知らせてもよいのでは？

回答: 子供たちは練習時に、意味や説明を聞いている。運動会当日にも保護者に向け知らせるようにしたい。

質問: 子供の「地域に笑顔と元気と届けている」と思っている回答の割合が高くないのはどういうことなのだろうか？

回答: 子供たちは意識的に笑顔と元気を届けていると思っていないからではないか。

子供たちは、「届ける」は、どこかに行ってすることと思っているのではないか。

意見: コロナ禍で、こいのぼりフェスティバルや老人ボランティアなどができていないことも影響していると思う。

【ご意見等】

- 先日の運動会で、悩んでいそうな子がひとりもないのが良かった。
- 学力の状況を聞きホッとした。子供たちが頑張っていることがわかった。
- 自己肯定感を高めていく取組を進め、「自分をほめてあげられる子」にしてほしい。
- 今日の報告を聞き、PTAとしてサポートできることがあるのではないかと思った。
- 自分たち(保護者)のことは見直すきっかけとなった。子供たち、学校は頑張っている。
- 保護者・地域で手伝えることがあれば協力したい。

たくさんの前向きなご意見をありがとうございました。

保護者、地域の方々にとって大切な学校でありたくさん支えて頂いていることに改めて感謝した次第です。

保護者、地域の方々と学校とが目指すべきことを共に考える良い機会となるものと確信しています。